

旧片倉組事務所 国登録有形文化財

～日本最大の製糸会社片倉組 はじまりの地～

◆ 製糸業に運命を託す

初代片倉兼太郎は代々続いてきた農業から転身し製糸業を始め、明治11年、この地に「垣外製糸場」を開設する。これが日本最大の製糸会社片倉組の発祥である。

◆ レンガ風タイル貼り洋風事務所

明治43年に建設された事務所は木造3階建て、人造石の柱型にレンガ風のタイルを貼っている。応接室の洋風飾り棚はガラスに松のステンドグラス、下部の板扉に松林の象嵌そうがんを施すなど和風のモチーフを取り込んだ見事なつくりである。

◆ 中央印刷株式会社の秘密

片倉組は伝票などを印刷するため、活版部を持っていた。これが片倉工業株式会社に名前を変えてからも行われ、昭和22年印刷業務を継承し中央印刷株式会社が創立された。



片倉兼太郎



現在中央印刷株式会社の事務所として使用されている。



垣外製糸場